

第2回県立病院経営強化プラン策定検討委員会の質疑要旨

○全適に対して県の考え方や検討状況はどうか。

➡全適について今後検討していく。

○どれくらい人員を増強する見込みか。

➡中央病院では、令和9年度までに看護師、理学療法士、管理栄養士など全体で128人の増員を考えている。

こころの病院では、作業療法士や精神保健福祉士など、7人の増員を考えている。

○組織のあり方については、何か新しいことはあるか。

➡中央病院では、ビジョンを備えた上で医療DXを活用するため、次世代の意見を取り入れながら組織改編を進める予定である。

○病院のパフォーマンスをわかりやすく評価する取組はあるか。

➡こころの病院では、患者満足度調査を毎年実施しているほか、今後、経営に影響がある患者数などを全職員が意識し、常に経営意識が持てる取組を進める。

○県立病院にあらかじめ、精神疾患の重症な患者が入院できる新興感染症病床を整備していただきたいが、いかがか。

➡こころの病院は、感染症の隔離が可能な病床を2床確保しているが、精神単科の病院であるため、危険な感染症は受入が難しい。

○中央病院の人間ドックについて、地域のかかりつけ医に託するとプランに書いてあるが、ぜひこの方向で進めるべきではないか。

➡ありがとうございます。

○中央病院の救急における働き方改革との兼ね合いはどうか。

➡働き方改革法の施行の前後で救急受入件数に大きな変化はない。

○中央病院の後方支援の体制を確立していただきたい。

➡後方支援病院連携の部門が非常に重要と考えている。